

琉球大学学術リポジトリ

暖かい室内ばきを！ ー小布を利用した子供の部屋
ばきの作り方ー

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-06-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡口, 文子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20394

暖かい室内ばきを!

小布を利用した子供の部屋ばきの作り方

一年中で一番楽しみに待っておりましたクリスマスやお正月も過ぎほっと一息ついたころと思います。

忙しかった暮の毎日の中でも子供さんや御主人の身の回り品のあれこれに整理の計画をしていらっしゃる事と存じます。去った十二月のような寒さがまたやって来るかも知れませんが、お家にある古い毛織物や余り布を使ってお母様の手で作った部屋ばきを子供さん方にプレゼントして上げて、学校やお家で暖かく楽しみながら冬を過ごせたらと思ひまして、短い時間で出来る部屋ばきの作り方を説明いたし度いと思ひます。

図によって説明いたします。

製図 1

六才用と八才用です。作図の囲りに一線の縫代をつけて型紙を作ります。

裁ち方

用布は斜布に使用します。用布が少ない場合は足底は従地にしてもよいでしょう。

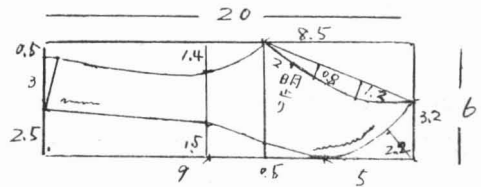
甲の部 四枚 (薄かったら裏布共に裁ちます)

足底は表裏四枚、しん 二枚。

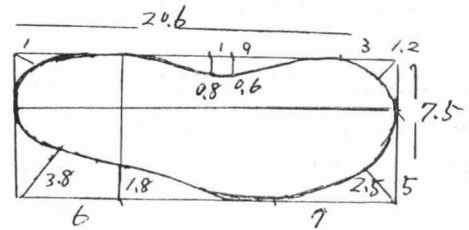
縫方順

甲の部 明止りからつま先までを裏表共中表に重ねて(四つ縫)縫う。かがとの方は表裏別々に中

(甲の部)

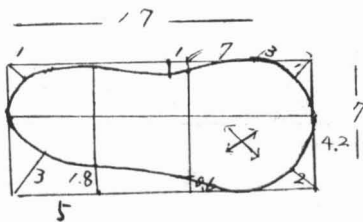


8才用 (足底)

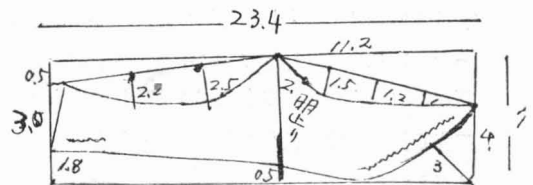


製図 1

6才用 (足底)



(甲の部)



表にして縫い合わせます。はき口は明止りに切込みを入れて中表にしてぐるっと縫い合わせます。足底は表のうらにしんを重ねてミンナなり手縫いで刺しておきます。

甲と足底を縫い合わせます時に甲の方の波型の標は縫い縮めておいて中心と中心を合わせてぐるっと縫い裏でまつりつけて仕上げます。形が出来上がりますと、毛糸や糸で好みに刺しておきますと丈夫で可愛らしいはきものが出来上がります。

製図 2

測り方と型紙の作り方

どの子供さんのものを作る場合でも紙の上に足を置いて罫りを写しておきます。(図2)

(図1)の様につま先から甲に沿って図の位置で甲の高さと、長さを測り、かがとの高さもきめておきます(図3)の方法で甲の部の製図をします時、元のAより一 下りた位置に二種延し、Dの所でも延長して二種出して甲の底の長さをきめて型紙を作ります。

古靴下利用の部屋ばき

男物の古靴下でつま先やかかとに孔のあいたものを使って大人の部屋ばきを作しましょう。

図の様に裁ちかがとと、つま先の方を縫い合わすだけで暖かく丈夫なものが出来上がります。はき口は別布で見返しに始末してもよいし、そのままに毛糸の色ものでまき縫いやスカラツプにしてもよいでしょう。

下駄ばきも出来る様に母指の方を二度縫いし、点線の様につま先を縫うだけで出来上っております。二度縫いの所へ切り込みします。

古い毛糸編物を利用して

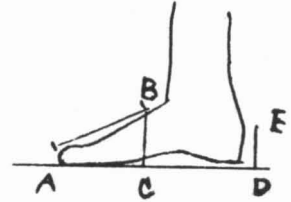
図の様に底を輪にして裁ち、点線通りに縫い合わせます。はき口布は出来ましたら袖口の様なゴム編の所を使って、返し縫いにして(パイヤス布三種幅共に)一・五種幅に仕上げ、その中にゴムを入れて仕上げます。口布の折返し布に糸で刺しゅうをしますと大変美しく暖かいもの出来るでしょう。(渡口文子)

(9 ページの右につづく)

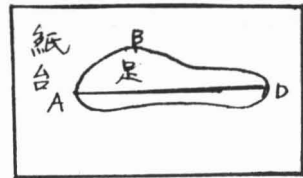
製図 2

計り方

(1)



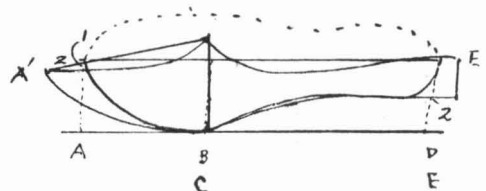
紙の上に足を写す
(2)



2図のABDの長さより1/2
3図のA'B Dは3-4cm長く
なる様にす

製図 3 切り出し方

3



4. カリの組織試験操作

試験紙の一端にある桃色の斑点（ジピクリルアミンソーダの色）と多汁質作物組織の切断した一片をふれさせる。斑点をしめす為に十分な汁液をしぼり出す。同様にして他の二つの斑点を作物の汁液でしめす。出来るだけ主要な組織を用いる。例えば葉の中軸、葉柄、茎など。これが葉緑素の混入をさけるのによい。汁液の少ない植物に対しては組織を斑点の上において、ピンセットの間にはさんでしぼり出すようにする。

汁液を斑点と30秒又はそれ以上反応させた後、斑点をやつとるおすに足るだけの発色液を加える。

カリは試薬（ジピクリルアミンソーダ）と反応して稀酸に不溶性のジピクリルアミンカリとなる。発色液中の塩酸は過剰のジピクリルアミンソーダを淡黄色のジピクリルアミンに変えるが、酸はソーダ塩の如くだいだい赤色のジピクリルアミンカリには作用しない。

だいだい赤色斑点の端に近いものは 1000ppm 又はそれ以上のカリ濃度に対する感度を持ち、中間のものは 2000ppm 又はそれ以上、三番目のものは 3000ppm 又はそれ以上のカリと反応するに十分な濃度である。若しカリと反応すれば斑点はだいだい赤色のままで残る。この反応はある程度温度に左右される。非常に暑い日には感度が低い。従って試験は朝の冷涼な時に行なうのが最もよい。

加里供給は次のようにして行なわれる。

もし作物汁液のカリが1000ppmより少ないならば、作物は一定のカリ欠乏症を示し、土壤にカリ肥料の効果を現わすであろう。

もし試験の結果カリが1000ppmは示すが2000ppmを示さないならば作物は典型的欠乏症を示さないが尚カリ肥料の効果があるであろう。

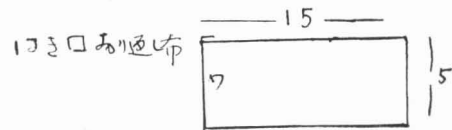
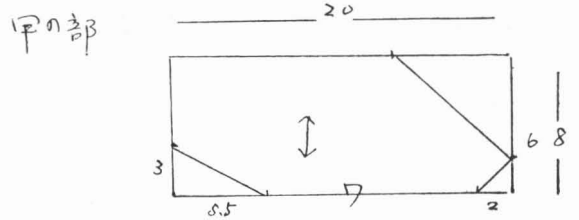
もし試験の結果汁液中に2000ppm以上のカリを示すならば作物は正常な生育をするに十分な加里を含有している。（おわり）

（ 鎮 西 忠 茂 ）

6頁の「室内ばき」のつづき

製 図 3

古毛糸 編物を利用して大人の部屋ばき



男の古くつした利用の部屋ばき

